

クラス番号	915	担当教員名	山崎 紀恵子
テーマ	現場のニーズから学ぶ地域福祉		

ゼミナール概要

<目的>

生きにくい地域の仕組みや生活課題を“何とかしたい！”と、東浦町でNPO法人絆で自分たちができることを実践してきました。暮らしの課題を仲間と共有、議論し学びと実践からニーズに合ったサービスを仕組みに、仕事にしてきました。そのプロセスは、時代と共に変化する地域の課題解決と新しい時代が求める小さな新しい仕事づくりの連続です。過去、現在を踏まえ未来に向け福祉社会の構築の一端を実践しています。

一人一人が自立した社会生活をするために地域に何が必要なのか？何が問題なのか？どのような仕組みや制度が必要なのか？ 市民活動の実践現場から課題発見と整理、分析、考察する力を自らの活動から体得することを目的としています。

<内容>

知多半島のNPOの現場は、一つひとつの課題に向き合い相互の学びと実践から創りだしてきた在宅サービス団体が核になっています。地域活動の実態と課題を社会化し事業にしていくプロセスを学び、自らも地域で暮らす当事者として暮らしの課題解決を仲間と共に考え学びあいます。

子育て、青少年、障害者、高齢者介護、まちづくりなど、様々な活動に市民が主体的に取り組み地域福祉、在宅福祉の一端を担っているNPOの現状を調べ、自分たちは何ができるかグループごとに企画立案し、その内容を夏休み6日間実践します。

活動の前は、NPOの職員の方々との打合せや教室での話し合いを通して、自分たちで地域の課題やニーズを把握し、何が求められているのか、また何ができるのかを探っていきます。そのうえで、学生は自分たちで行う活動を立案し、実践する。さらに、活動後、NPOの職員の方々との合同の振り返り会を行い様々な視点から活動での気づきや発見から地域福祉の視野を広げ、複眼的、立体的思考力を高めます。

<学習計画>

春休みにNPO見学のバスツアーを行います（予定）

4・5月 地域活動の実態を知る。

6・7月 地域貢献活動の企画（地域のつながり。自分たちは何ができるか？考え、計画を立てる。）

8・9月 NPOでの地域貢献活動（6日間）

10・11月 活動のふりかえり（グループのまとめ、活動先NPOの方を交えてふりかえり会）

12月・1月 活動報告会、学習のまとめ（クラスのまとめ、誰にもわかる報告。12月：報告会）

担当教員からのメッセージ

知多地域の様々なNPOは、それぞれの地域性とリーダーの個性が繋がって地域福祉の新しいうねりを創りだしてきています。一人一人の命の尊厳、“私らしく生きる””私の意志”を大切にする地域づくり、社会づくりの活動は自らの考え、学びの力を深め、可能性にチャレンジするフィールドです。これまでの制度、価値観が通用しない時代の大きな転換期にあります。何をどう変えるのか、また複雑化する個人の問題や地域福祉の課題を専門性に重ね、当事者意識で社会の関係性を再編し明るい未来を切り拓く機会になります。あなたの生き方も見えてくるゼミです。